



# 2015年度決算説明会

2016年5月13日

東武鉄道株式会社

# 目次

- ・Ⅰ.2015年度 実績 P02
  
- ・Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進 P15
  
- ・Ⅲ.2016年度 計画 P36

# I. 2015年度 実績

## 連結子会社及び持分法適用会社の異動状況

2016年3月末現在

項目 セグメント	連結子会社	持分法適用会社	計	2015年3月	増減
運輸	30	2	32	33	1社減
レジャー	20	2	22	23	1社減
不動産	4	0	4	4	
流通	15	3	18	18	
その他	17	0	17	17	
計	86	7	93	95	2社減

(参考) 決算期統一(3月)への取り組み状況(決算期変更による影響額)

項目 セグメント	15年度			14年度		
	社数	影響額(単位:億円)		社数	影響額(単位:億円)	
		営業収益	営業利益		営業収益	営業利益
運輸	0	0	0	0	0	0
レジャー	0	0	0	1	6	△1
不動産	0	0	0	0	0	0
流通	0	0	0	1	2	0
その他	1	2	0	2	36	3
計	1	2	0	4	44	2
消去	-	0	0	-	△28	△1
合計	1	2	0	4	16	1

減少内訳

運輸セグメント

(株)千葉ロジテム

(15年7月(株)群馬ロジテムと合併による減少)

レジャーセグメント

東武トラベル(株)

(15年4月トップツアー(株)と合併による減少)

# I. 2015年度実績

## 1 収益力(連結)

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	参 考	
	(実績)	(実績)		(計画)	(対計画)
営業収益	5,743	5,833	▲90	5,794	▲51
営業利益	644	532	112	586	58
経常利益	560	461	99	492	68
親会社株主に帰属 する当期純利益	273	307	▲34	242	31
利益剰余金	1,527	1,317	210	1,497	30
営業利益 ROA ※	4.0%	3.5%	0.5P	3.6%	0.4P
ROE ※	7.1%	8.7%	▲1.6P	6.3%	0.8P

※ 営業利益ROA=連結営業利益÷[(期首総資産+期末総資産)÷2] ※ 計画値は15年11月12日開催の決算説明会時の見込数値を使用。

※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷[(期首自己資本+期末自己資本)÷2]

(P3~P14)

# I. 2015年度 実績

## 2 損益項目の増減要因(14年度→15年度)

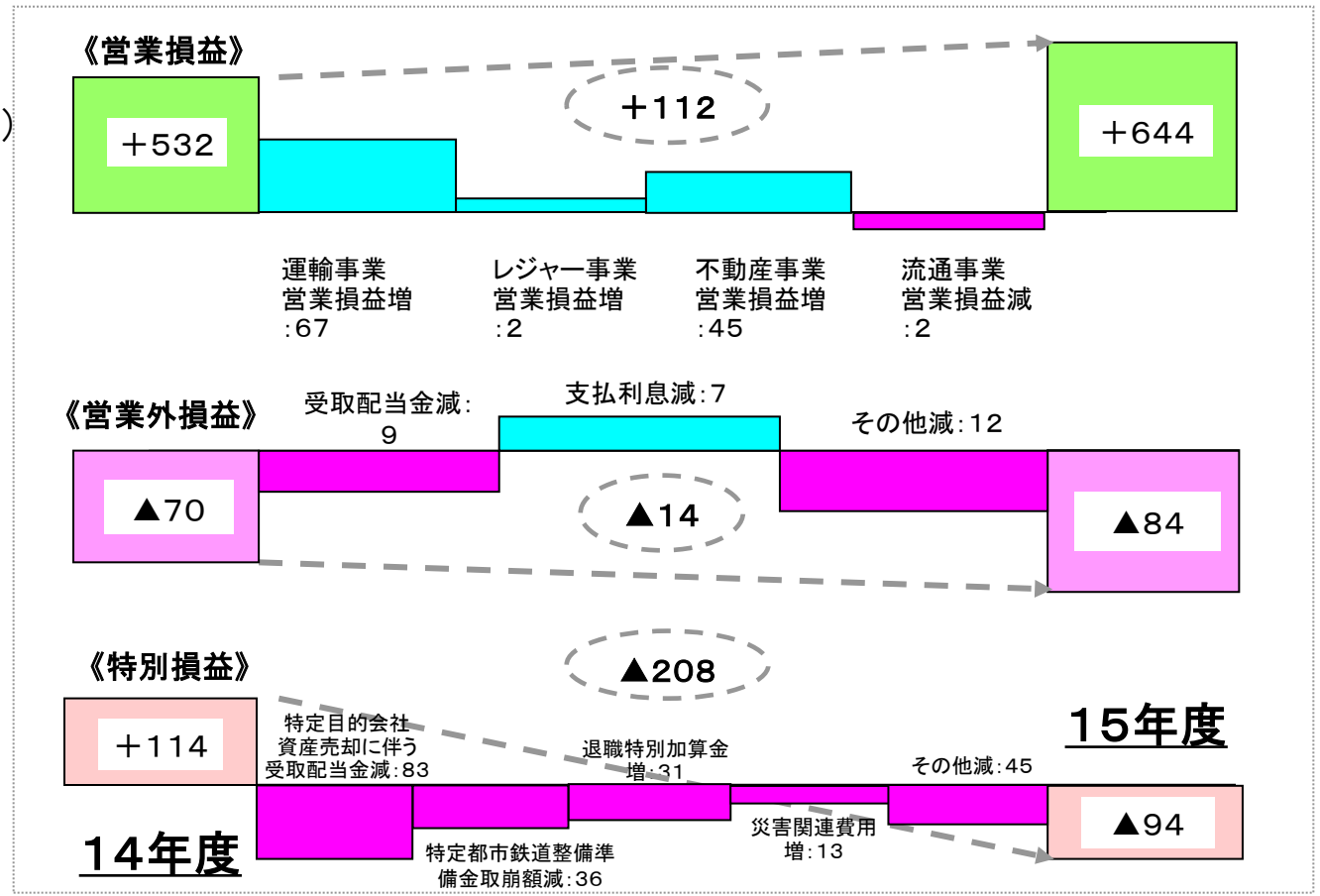
(単位:億円)

15年度

当期純利益273億円  
(対前年同期:▲34億円)

営業損益	: +112
営業外損益	: ▲14
特別損益	: ▲208
税金等調整前 当期純利益	: ▲110
親会社株主に 帰属する当期 純利益	: ▲34

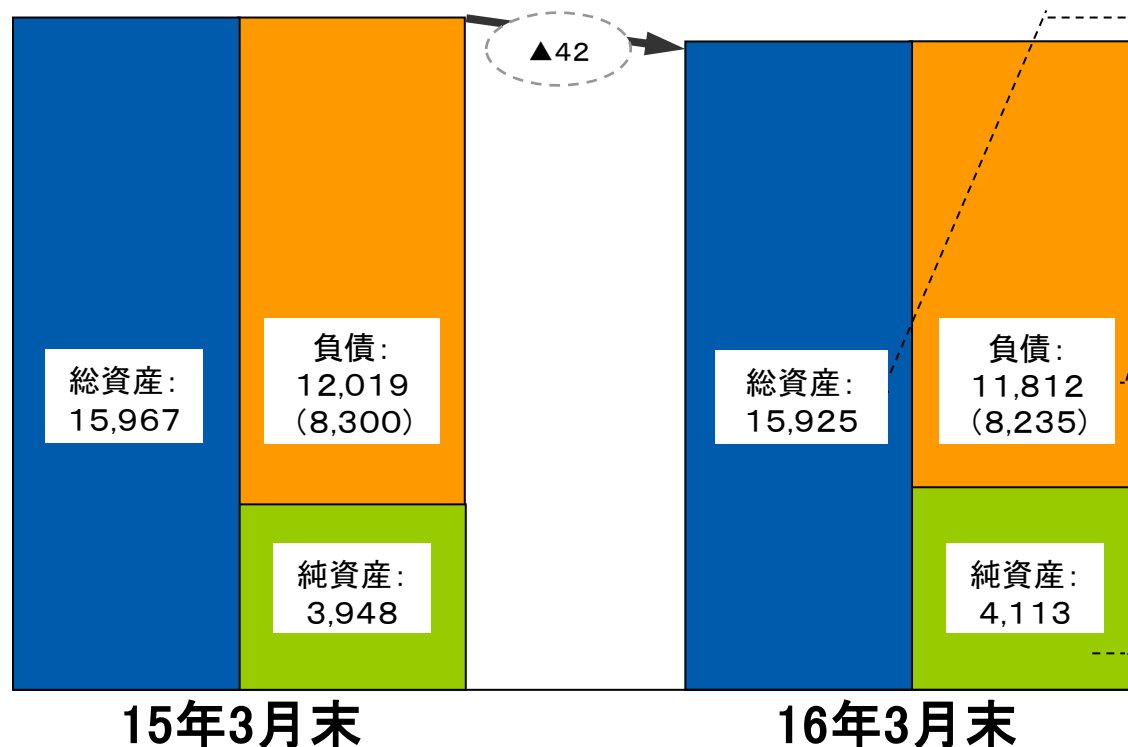
売上高営業利益率  
11.2%



# I. 2015年度 実績

## 3 総資産の動き (15年3月末→16年3月末)

(単位: 億円)



総資産(対15/3末)	: ▲42
投資有価証券	: ▲235
有形固定資産	: 120
その他	: 73

負債(対15/3末)	: ▲207
有利子負債	: ▲65
(借入金、社債、鉄道運輸機構未払金)	
その他	: ▲142

純資産(対15/3末)	: 165
利益剰余金	: 210
その他有価証券評価差額金	: ▲100
その他	: 55

※ カッコ内  
負債: 有利子負債残高(億円)

# I. 2015年度実績

## 4 キャッシュフロー(連結)

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	参考	
	(実績)	(実績)		(計画)	(対計画)
EBITDA	1,173	1,048	125	1,123	50
(営業利益)	(644)	(532)	(112)	(586)	(58)
(減価償却費)	(529)	(516)	(13)	(537)	(▲8)
有利子負債残高	8,235	8,300	▲65	8,361	▲126
有利子負債／ EBITDA倍率	7.0(倍)	7.9(倍)	▲0.9(P)	7.4(倍)	▲0.4(P)
純工事額	693	1,595	▲902	832	▲139

参考 14年度純工事額のうち、東武百貨店池袋店および船橋店の資産買取価額・・・1,030億円

# I. 2015年度実績

## 5 セグメント別営業利益(連結)

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	参考	
	(実績)	(実績)		(計画)	(対計画)
運輸	376 (4.1%)	309 (3.6%)	67 (0.5P)	356 (3.9%)	20 (0.2P)
レジャー	82 (4.4%)	80 (4.6%)	2 (▲0.2P)	66 (3.8%)	16 (0.6P)
不動産	140 (3.4%)	95 (2.3%)	45 (1.1P)	129 (3.0%)	11 (0.4P)
流通	4 (0.4%)	6 (0.6%)	▲2 (▲0.2P)	2 (0.2%)	2 (0.2P)
その他	52 (2.5%)	47 (2.4%)	5 (0.1P)	37 (1.8%)	15 (0.7P)

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額、下段カッコ:営業利益ROA)

# I. 2015年度実績

## 《運輸事業》

(単位:億円)

	15年度 (実績)	14年度 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	2,166	2,120	46	▲9
鉄道	1,615	1,588	27	▲6
その他	551	532	19	▲3
営業費用	1,790	1,811	▲21	▲29
鉄道	1,283	1,308	注1 ▲25	注2 ▲19
その他	507	503	4	▲10
営業利益	376	309	67	20
鉄道	332	280	52	13
その他	44	29	15	7

### 主な増減要因

東武鉄道 鉄道業の旅客人員・旅客収入 (単位:百万人、億円、%)

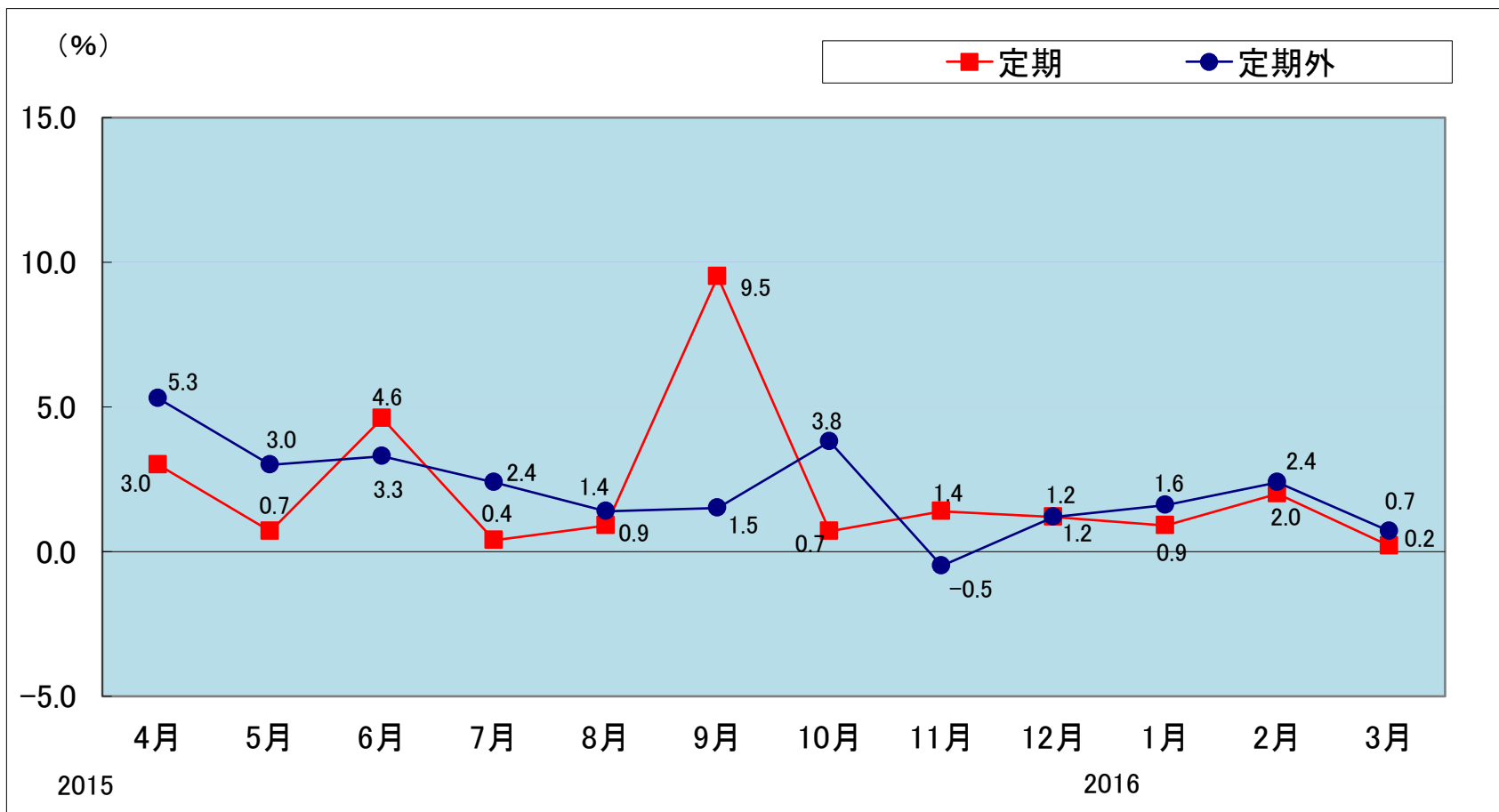
		15年度	14年度	対前年		15年度	対計画	
		実績	実績	増減	%	計画	増減	%
旅客人員	定期外	316	309	7	2.1	315	1	0.1
	定期	588	576	12	2.1	588	0	0.0
	(特急※)	6	6	0	0.6	6	0	▲1.6
	計	904	885	19	2.1	903	1	0.0
旅客収入	定期外運賃	735	722	13	1.9	738	▲3	▲0.3
	特急料金	55	55	0	0.2	56	▲1	▲2.2
	定期運賃	658	645	13	1.9	658	0	▲0.1
	計	1,448	1,422	26	1.8	1,452	▲4	▲0.3

※旅客人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

注1 東武鉄道 鉄道業	人件費	▲70	注2 東武鉄道 鉄道業	人件費	▲2
	物件費	+38		物件費	▲9
	動力費	▲14		動力費	▲6
	諸税	+5		諸税	▲1
	減価償却費	+12		減価償却費	▲1

# I. 2015年度 実績

## 輸送人員(定期・定期外)の増減率の推移(対前年比較)



# I. 2015年度 実績

## 《レジャー事業》

(単位:億円)

	15年度 (実績)	14年度 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	790	796	▲6	3
ホテル	171	168	3	▲1
スカイツリー	151	165	▲14	1
その他	468	463	5	3
営業費用	708	716	▲8	▲13
ホテル	164	164	0	▲3
スカイツリー	92	95	▲3	▲8
その他	452	457	▲5	▲2
営業利益	82	80	2	16
ホテル	7	4	3	2
スカイツリー	59	70	▲11	9
その他	16	6	10	5

### 主な増減要因

#### 主なホテルの状況(実績)

	客室稼働率(%)			婚礼組数(組)		
	15年度	14年度	増減	15年度	14年度	増減
銀座	93.9	94.0	▲0.1	154	142	12
錦糸町	86.5	91.6	▲5.1	149	197	▲48
成田	79.8	82.1	▲2.3	-	-	-

※成田はH26.10月～H27.2月まで耐震工事を行いました。同期間の稼働率については、耐震工事を行った客室を除いて計算しています。

#### ※東京スカイツリー入場者数

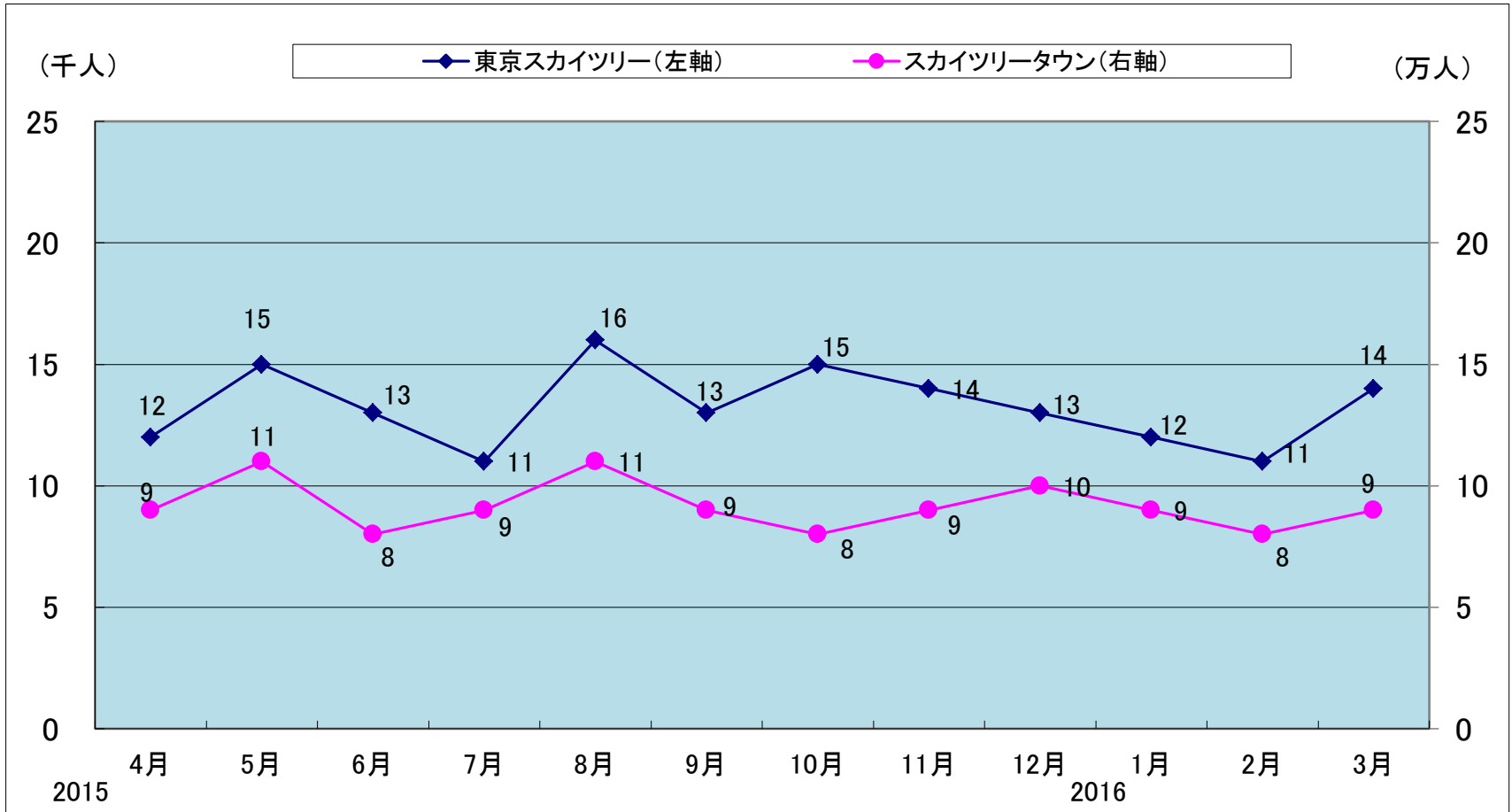
15年度実績 約479万人

14年度実績 約531万人

15年度計画 約470万人

# I. 2015年度実績

## 東京スカイツリータウンの一日平均来場者数の推移



# I. 2015年度実績

## 《不動産事業》

(単位:億円)

	15年度 (実績)	14年度 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	545	568	▲23	6
賃貸	333	339	▲6	▲1
タウン	128	129	▲1	1
分譲	84	100	▲16	6
営業費用	405	473	▲68	▲5
賃貸	215	226	▲11	▲5
タウン	110	109	1	▲3
分譲	80	注 138	▲58	3
営業利益	140	95	45	11
賃貸	118	113	5	4
タウン	18	20	▲2	4
分譲	4	▲38	42	3

### 主な増減要因

#### 分譲販売戸数

単位:戸

		15年度 実績	14年度 実績	対前年 増減	15年度 計画	対計画 増減
		販売戸数	戸建住宅	38	13	25
	マンション	166	422	▲256	169	▲3
持分換算後 販売戸数	戸建住宅	38	13	25	30	8
	マンション	134	194	▲60	137	▲3

※スカイツリータウン来場者数

15年度実績 約3,360万人

14年度実績 約3,453万人

15年度計画 約3,200万人

注

販売用不動産評価損 41

# I. 2015年度実績

## 《流通事業》

(単位:億円)

	15年度 (実績)	14年度 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	1,994	2,051	▲57	▲25
百貨店	1,774	1,830	注1 ▲56	注2 ▲29
その他	220	221	▲1	4
営業費用	1,990	2,045	▲55	▲27
百貨店	1,779	1,833	▲54	▲30
その他	211	212	▲1	3
営業利益	4	6	▲2	2
百貨店	▲5	▲3	▲2	1
その他	9	9	0	1

### 主な増減要因

注1  
池袋店 ▲38  
宇都宮店 ▲13  
船橋店 ▲5

注2  
池袋店 ▲18  
宇都宮店 ▲7  
船橋店 ▲4

# I. 2015年度 実績

## 《その他事業》

(単位:億円)

	15年度 (実績)	14年度 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	910	956	注 ▲46	30
営業費用	858	909	▲51	15
営業利益	52	47	5	15

### 主な増減要因

注 14年度決算期変更による影響  
 東武電設工業 ▲30  
 東武開発 ▲6

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

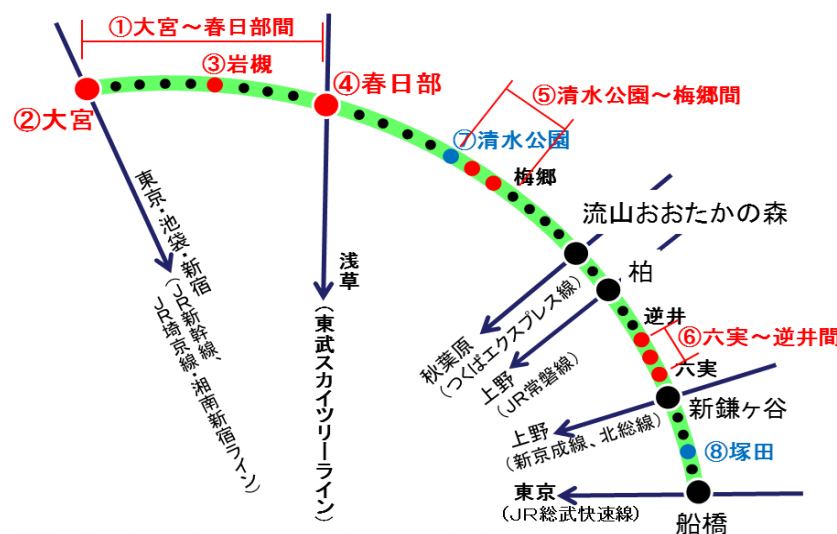


基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

東武アーバンパークラインの利便性・快適性の向上

## 東武アーバンパークラインの高いポテンシャルを最大限活用し、 エリア内の定住化促進と交流人口を創出

- ① **大宮～春日部間急行運転開始(16年3月26日ダイヤ改正)**
  - ・広域交流拠点である大宮駅までの所要時間を短縮(最大7分短縮)
- ② **大宮駅の機能高度化**
  - ・鉄道路線間の乗換改善や東西自由通路及び東口駅前広場整備等による回遊性向上を検討中
- ③ **岩槻駅の橋上化(16年度完成予定)**
  - ・区画整理事業の進捗に合わせ反対口を開設するため、駅の橋上化工事を推進中
- ④ **春日部駅付近連続立体交差事業**
  - ・東西市街地の一体化による総合的なまちづくりを推進するため、連続立体交差事業の事業化を協議中
- ⑤ **清水公園～梅郷間連続立体交差事業**
  - ・東西市街地の一体化による総合的なまちづくりを推進中
- ⑥ **六実～逆井間複線化工事(16年度工事着手)**
  - ・船橋～柏間全区間複線化により、速達性の向上を図り、東京・千葉方面へのアクセス強化を実施



TOBU URBAN PARK LINE

- ⑦ **ソライエ清水公園アーバンパークタウン**
  - ・戸建住宅を中心とした約500区画(約9.1ha)の大規模分譲開発を推進中
- ⑧ **マンション分譲**
  - ・ソライエ船橋塚田(129戸、17年3月竣工予定)
  - ・パークホームズ船橋塚田(107戸、17年3月竣工予定)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

質の高い輸送サービスの提供

## 新型特急「500系」の導入(17年春運行開始予定) ～併結・分割機能を活かした多線区でのフレキシブルな運行～

### ■ 新型特急「500系」

・開発コンセプト:

「さまざまな運行形態で運用可能な速達性と快適性を持った特急車両」

・導入車両数: 24両(3両固定×8編成)

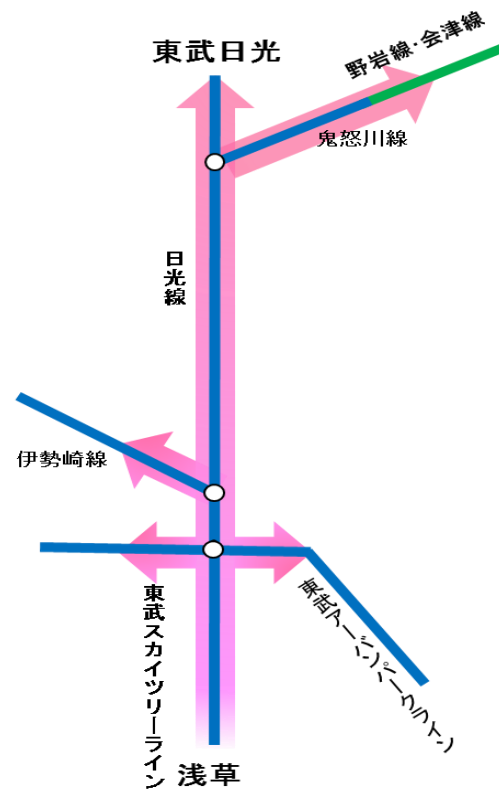
・デザイン監修: KEN OKUYAMA DESIGN(代表 奥山 清行氏)



「500系」エクステリアデザイン(イメージ)



「500系」インテリアデザイン(イメージ)



運行パターン(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



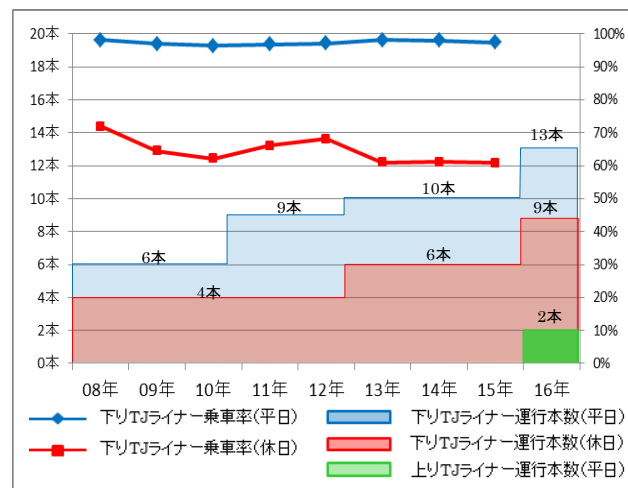
基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

質の高い輸送サービスの提供

## TJライナーの新設・増発、副都心線直通列車の急行運転開始 (16年3月26日ダイヤ改正)

### ■ 上りTJライナー新設・下りTJライナー増発

- ・朝通勤時間帯に上りTJライナーを2本新設  
停車駅： 森林公園、東松山、坂戸、川越、ふじみ野 ⇒ 池袋
- ・タラッシュ時間帯の下りTJライナーを3本増発  
平日： 池袋発18時～ 0時まで30分間隔運転(現行10本⇒13本)  
土休日： 池袋発17時～21時まで30分間隔運転(現行 6本⇒ 9本)  
※ 08年6月の運転開始以降、増発後も安定した乗車率を維持

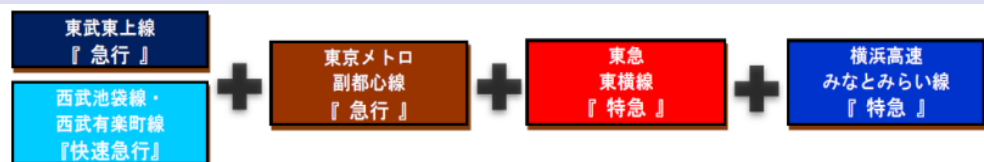


### ■ 副都心線直通列車の急行運転開始



愛称名:Fライナー

・副都心線直通列車のうち、速達性の高い直通列車に愛称名を付け運行。広域ネットワークを活かし、交流人口を創出



TJライナー

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

さらなる安全性の向上

## ホームドア(可動式ホーム柵)の導入を推進 ～安全性と信頼性を高める取り組みでさらなる安心を提供～

### ■ホームドア(可動式ホーム柵)の導入・推進

#### 和光市・川越

- ・和光市駅(16年3月使用開始)
- ・川越駅(17年度完成予定)

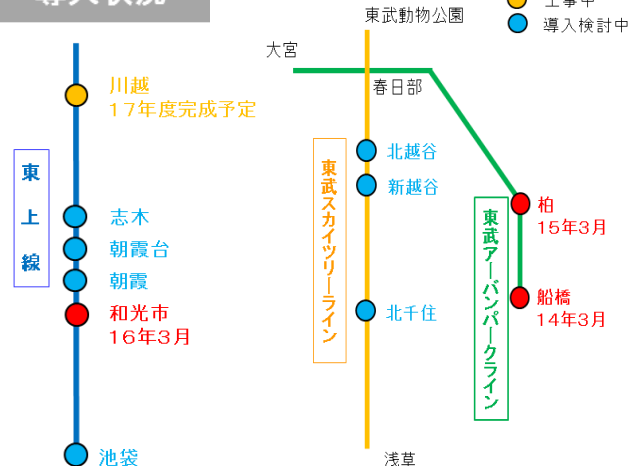
#### 北越谷・池袋・朝霞

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場最寄駅である北越谷・朝霞および拠点駅である池袋への導入を優先して検討中



和光市駅可動式ホーム柵

### 導入状況



### ■日比谷線新型車両「70000系」(17年上期より営業運転開始予定)

- ・19年度までに日比谷線直通用車両全編成を20m7両化に更新(予定)
- ・東武スカイツリーラインの通勤車両を20m4扉化に統一することにより、ホームドア(可動式ホーム柵)整備を促進



「70000系」エクステリアデザイン(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

さらなる安全性の向上

## 連続立体交差事業により、分断された市街地を一体化 ～総合的なまちづくりを推進～

### ■進捗状況

#### とうきょうスカイツリー駅付近

- ・16年3月 都市計画決定
- ・墨田区が進める事業認可手続きに協力

#### 竹ノ塚駅付近

- ・高架橋工事推進中
- ・16年5月29日下り急行線高架化予定

#### 春日部駅付近

- ・事業化を目指し、埼玉県・春日部市と協議中

#### 清水公園～梅郷間

- ・高架橋工事推進中

#### 大山駅付近

- ・事業化を目指し、東京都と協議中



竹ノ塚駅付近 連続立体交差事業

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大

## 天望シャトルの改修・団体バスの受入体制強化等 ～来場者の維持拡大に向けた営業体制・誘客活動強化～

### ■天望シャトル(エレベーター)の改修

- ・強風時の利用制限を改善する改修工事を推進
- ・1基目の工事完了後は全面的な営業休止・中止実績はなし
- 1基目:15年8月3日 運行再開
- 2基目:16年3月11日 運行再開
- 3基目:16年度工事予定

### ■団体バスの受入体制強化

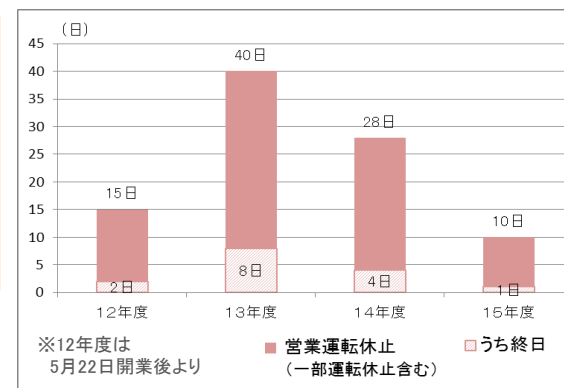
- ・団体バス駐車場の増備(15年10月、16年4月)
- ・団体バスの駐車時間を最大3時間まで拡大(15年12月)
- ⇒滞在時間の延長により、天望回廊の利用とタウン内の回遊を促進

### ■天望デッキと天望回廊の入場をセットにした旅行商品の販売

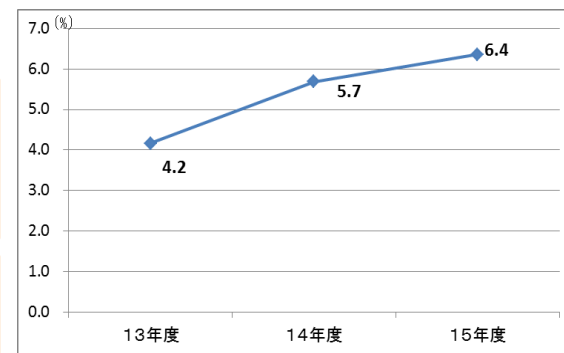
- ・15年10月 個人旅行の入場開始(東武トップツアーズ・JTB等)
- ・15年12月 団体旅行の入場開始(はとバス・読売旅行等、修学旅行団体)

### ■国内観光営業活動の強化

- ・全国各地で積極的なプロモーション活動を展開(北陸・近畿・中部・四国他)
- ・戦略的な修学旅行の誘致活動



強風等による天望シャトルの運転休止(実績)



東京スカイツリー®来場者に占める  
学生団体(修学旅行)割合

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大

## 話題性の高い特別企画・イベント開催による賑わいの創出 ～夜間時間帯等における集客力の強化～

### ■『SKYTREE ROUND THEATER™』

- ・天望デッキフロア350の窓ガラスに、臨場感溢れる音響とともに迫力ある映像を投影  
夜間における展望台の魅力をさらに高める演出により、集客力の強化を推進  
【オープン日】16年3月18日 【投影ガラス面積】 横幅 約110m × 高さ 約2m



### 第一弾プログラム『WIPE UP!』

- ・天望デッキの窓ガラスを清掃員チームが窓拭きしているように見える映像
- ・目の前に清掃員に扮したリアルなパフォーマーや音楽隊も登場、  
生演奏などを繰り広げるエンターテインメントショー
- 【公演回数】 3回／日(回数・開演時刻は季節に応じて変動)
- 【公演時間】 約15分

WIPE UP!

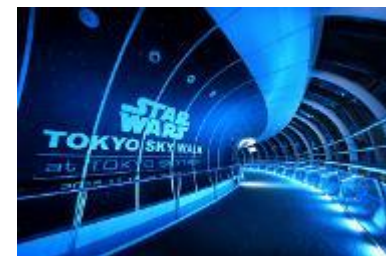


### ■『STAR WARS TOKYO SKY WALK at TOKYO SKYTREE®』

- ・映画の世界観を体感できる空間演出
- ・ライトセーバーに見立てた記念ライティング
- ・オリジナル商品の期間限定販売



15年11月18日～16年2月11日開催



天望回廊装飾

© & TM Lucasfilm Ltd.

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大

## 海外プロモート活動の展開・商品開発

### ～インバウンド獲得への取組み強化～

#### ■海外プロモート活動の展開(海外で開催の国際旅行博出展等)

- ・香港国際旅行展示会(15年6月)、タイ国際旅行フェア(15年8月・16年2月)、台北国際旅展(15年11月)等

15年度来場者実績 (団体来場者のみ)

台湾36千名(前年度比1.1倍) 香港8千名(同2.2倍)

中国5千名(同4.7倍) タイ4千名(同1.3倍)

#### 【メディア誘致宣伝】

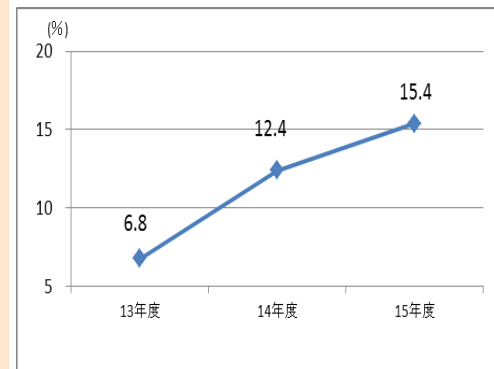
- ・日経CNBC番組内広告CM放映:アジア16か国(韓国、中国、台湾、香港、タイ、インドほか)
- ・タイTV日本紹介人気番組「すごいジャパン」取材誘致
- ・日本政府観光局(JNTO)、東京観光財団(TCVB)等招聘海外メディア取材の積極的な受入

#### ■訪日外国人旅行者専用入場券『Fast Skytree Ticket』の販売

- ・15年度 累計約21万枚 発売

#### ■海外に向けたホームページの改修

- ・多言語HPの既存言語(英語・中文繁体字・中文簡体字・韓国語)の情報を拡充
- ・多言語HPにタイ語のホームページを新設



東京スカイツリー®来場者(個人)に占める外国人(個人)割合

#### 15年度 Fast Skytree Ticket 販売実績

国名	実績(千人)
アメリカ	28
中国	27
台湾	17
その他	137
合計	208

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大

## 東京ソラマチのテナント入替と各種イベントによる集客力の強化

### ■積極的なテナント入替等の実施

- ・ファッション&雑貨ゾーンのリニューアル  
⇒インバウンドを意識し、伝統や技術を生かした日本の新しいモノづくりの専門店等  
話題性や独自性の高いテナントを誘致
- ・年間約30店舗のテナント入替を実施し、継続的に鮮度・魅力を向上

#### 東京ソラマチ

前年度実績を上回る売上を達成(前年度比100.4%)

### ■今後のテナント入替計画

- ・物販店舗を中心とした5年定期賃貸借契約期間満了に伴うリニューアルを計画的に実施
- ・「つくる×つかう=にぎわう」をコンセプトに300店舗以上で構成されており、  
これからもより多くのお客さまに選ばれる施設を目指す

### ■周年記念やシーズンに応じたイベントを開催

- ・4周年やクリスマスを契機とした集客イベントや、販売促進策を実施  
(フラワーカーペット、大道芸フェスティバル、イルミネーション等)



大道芸フェスティバルの様子



スカイアリーナのフラワーカーペット(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

沿線拠点の強化

## 池袋副都心再生のリーディングプロジェクトとして 池袋駅西口地区市街地再開発を積極的に推進

### ■池袋駅西口地区市街地再開発準備組合 設立

【池袋駅西口地区市街地再開発準備組合の概要】

設 立 : 15年12月11日

面 積 : 約4.5ha

参 加 者 : 事業地域内の地権者 92名 (理事20名、監事2名)

※準備組合加入率 72%(16年4月18日現在)

事業協力者 : 三菱地所株式会社・三菱地所レジデンス株式会社



池袋駅西口

### ■市街地再開発 事業スケジュール(案)

15年7月  
特定都市再生緊急  
整備地域に指定※

15年12月  
準備組合設立

18年度末  
都市計画決定

19年度末  
組合設立認可

21年度末  
権利変換  
計画認可

※ 都市再生緊急整備地域のうち、国際競争力強化に特に有効な地域として政令指定する地域

東京都内では、東京都心・臨海地域、品川・田町駅周辺地域、新宿駅周辺地域、渋谷駅周辺地域に続き、5地域目の指定

16年4月19日開催 池袋駅西口地区市街地再開発準備組合臨時総会資料より

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

沿線拠点の強化

## 曳舟駅に駅直結の拠点病院を建設(17年春開業予定) ～駅を中心とした地域の活性化を推進～

### ■ 曳舟駅直結の拠点病院

- ・東京都災害拠点病院であり、災害派遣医療チームを有する伯鳳会を駅に誘致し、地域の活性化及び安全、安心、快適なまちづくりを推進



#### 【施設概要】

- ・敷地面積 2,999.00㎡ ・延床面積 9,733.94㎡
- ・賃貸先 医療法人伯鳳会 ・病床数 199床(予定)



曳舟駅に直結した拠点病院(イメージ)

### ■ 曳舟駅高架下店舗建設(16年度 下期竣工予定)

- ・病院開業に合わせ、改札口周辺から病院入口までの動線上に魅力的な店舗を配置し、利便性の向上を図る

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

駅スペースを活用した商業施設の魅力向上

## 駅直結・駅スペースを活用した積極的な商業施設の展開

### ■「EQUiA(エキア)成増」 グランドオープン

- ・16年3月25日 成増南口駅ビル・橋上店舗 全19店舗
- ・「よりみちキッチン」をコンセプトに、人気グロサリーショップや沿線ゆかりの店舗、バラエティー豊かなスイーツショップを展開



「EQUiA成増」 グランドオープン

### ■梅島高架下店舗グランドオープン

- ・16年3月24日(サイゼリヤ)、3月28日(東武ストア)オープン
- ・高架下の利活用による、更なる生活利便性の向上

### ■「イケチカ ダイニング」グランドオープン

- ・16年5月24日池袋駅西口地下に5店舗が順次オープン(全店池袋エリア初出店)
- ・「働く女性がちょっと一息つける都会のプチオアシス」がコンセプトの飲食店を展開

### ■駅直結商業施設、駅ナカ店舗の建設計画 ・リニューアル

- |     |                              |
|-----|------------------------------|
| 曳舟  | ・駅高架下店舗建設(16年度 下期竣工予定)       |
| 北千住 | ・駅センターゾーンリニューアル(17年度 上期竣工予定) |
| 和光市 | ・駅南口ビル建設(18年度 下期竣工予定)        |
| 朝霞台 | ・駅ビル建設                       |
| 志木  | ・東口駅ビルリニューアル(16年度 下期竣工予定)    |



「イケチカ ダイニング」 グランドオープン(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

定住化促進

## マンション・戸建・土地分譲

～安心して快適に暮らせる「選ばれる沿線」へ～

### ■ 15年度マンション実績

物件名	所在地 / 竣工年月	総戸数 (単位:戸)	15年度 引渡実績	16年度 引渡予定
プリリアときわ台ソライエレジデンス	板橋区 / 14年11月	329	52	<b>15年度 完売</b>
ソライエR東武サンライト杉戸高野台	杉戸町 / 13年度から順次	68	26	
ソライエ柏豊四季	柏市 / 15年8月	91	88	

### ■ 主な戸建・土地分譲実績と今年度の計画

(単位:戸・区画)

場所		15年度 引渡実績	16年度 引渡予定
清水公園	戸建	25	30
	土地	57	40
南栗橋	土地	81	44
滑川月輪	土地	114	71

### ■ 販売予定(新規)のマンション

物件名	所在地 / 引渡年月(予定)	総戸数(単位:戸)
ソライエ船橋塚田	船橋市 / 17年 3月	129
パークホームズ船橋塚田	船橋市 / 17年 3月	107
ソライエ若葉	坂戸市 / 17年 3月	92
(仮称)川口市東川口マンション	川口市 / 17年 12月	50
(仮称)板橋区成増マンション	板橋区 / 18年 3月	111
(仮称)葛飾区小菅マンション	葛飾区 / 19年 2月	190
(仮称)草加市松原マンション	草加市 / 19年 3月	310
(仮称)流山市マンション	流山市 / 19年 5月	約350



ソライエ船橋塚田(イメージ)



ソライエ若葉(イメージ)



ソライエ清水公園アーバンパークタウン(イメージ)



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

生活支援事業の展開

## 駅チカ保育園・学童保育所の積極的な展開

～ますます子育てしやすい沿線へ～

### ■ 保育園

路線・駅	物件名		開設
東武 スカイツリーライン	北千住駅(足立区)	【仮称】北千住どろんこ保育園	認可(予定) 17年4月(予定)
	梅島駅(足立区)	【新設】日生梅島第二保育園ひびき	認可 16年4月
	大師前駅(足立区)	チェリッシュ大師前駅	認可 12年4月
	松原団地駅(草加市)	草加松原どろんこ保育園	認可 15年4月
	北越谷駅(越谷市)	第二おおたけ保育園	認可 15年4月
東武 アーバンパークライン	江戸川台駅(流山市)	ぼけっとランド江戸川台駅前保育園	認可 13年4月
	新船橋駅(船橋市)	【新設】日生新船橋保育園ひびき	認可 16年4月
東上線	ときわ台駅(板橋区)	ポピンズナーサリースクールときわ台	認証 12年4月
	志木駅(新座市)	志木駅前そらいろ保育園	認可 15年4月
	川越市駅(川越市)	増美保育園 田町	認可 15年4月
	若葉駅(鶴ヶ島市)	はちの巣保育園	認可 13年4月



日生梅島第二保育園ひびき



日生新船橋保育園ひびき

### ■ 学童保育所

路線・駅	物件名		開設
東武 スカイツリーライン	越谷駅(越谷市)	【仮称】越ヶ谷学童保育室	17年4月(予定)
東上線	つきのわ駅(滑川町)	滑川町学童第5わくわくクラブ	13年4月
	つきのわ駅(滑川町)	滑川町学童第6わくわくクラブ	16年4月



滑川町学童第6わくわくクラブ

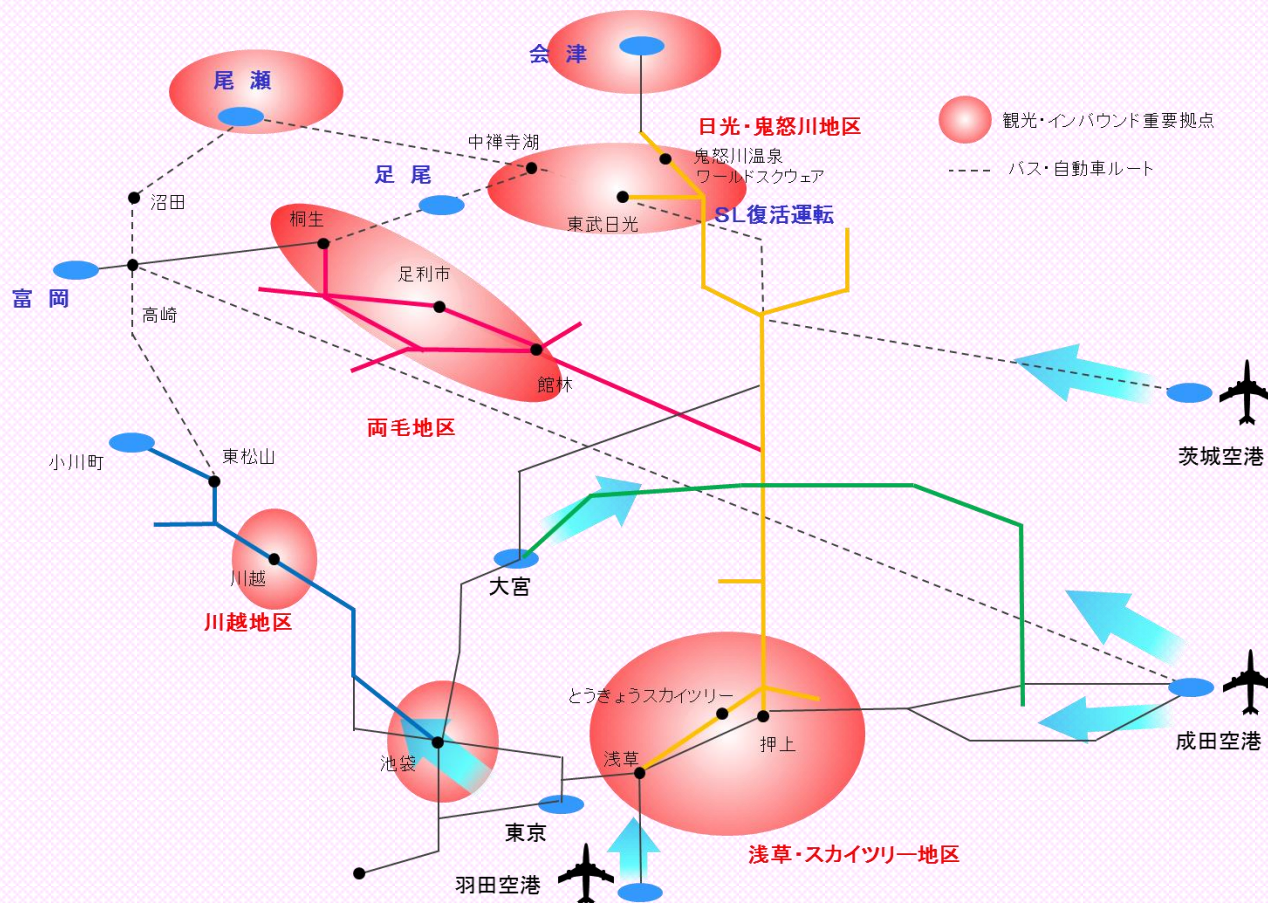
# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

## 東武鉄道沿線におけるインバウンド・観光の拠点



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

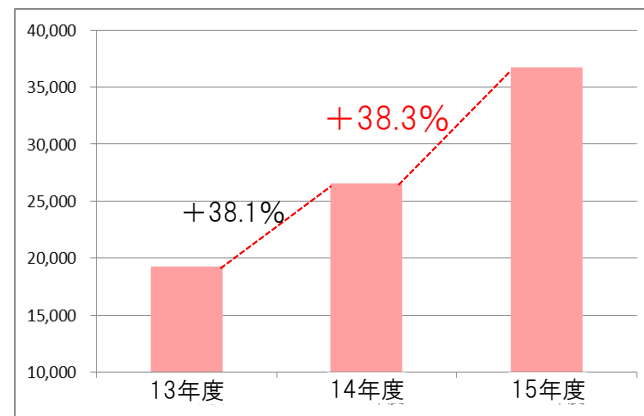
インバウンド獲得への取組み強化

## インバウンド獲得に向けた商品造成と需要の取組み

### ■ 訪日外国人観光客向け商品の販売促進

【インバウンドパス発売実績(東武鉄道)】※KAWAGOE DISCOUNT PASSは15年2月発売開始

企画券名	14年度	15年度	増減	増減比
ALL NIKKO PASS	15,862枚	21,870枚	+6,008枚	+37.9%
2DAY NIKKO PASS	19,019枚	24,351枚	+5,332枚	+28.0%
KINUGAWA THEME PARK PASS	3,576枚	4,184枚	+608枚	+17.0%
日光・鬼怒川エリア合計	38,457枚	50,405枚	+11,948枚	+31.1%
KAWAGOE DISCOUNT PASS	※ 659枚	5,156枚	+4497枚	-



### ■ ショッピング付き旅行商品の新規販売

- ・TOKYO SKYTREE® with Shopping Plan at TOKYO Solamachi®  
を新たに発売、3ヶ月で665件の売上

### ■ 台湾鐵路管理局との友好鉄道協定締結

- ・記念式典開催、記念乗車券発売、乗車券相互利用実施
- ・台湾鐵路管理局「普悠馬号」の塗装を施したりょうもう号を運行予定

### ■ アジア各国の訪日旅行需要の取り込み

- ・台湾、香港、タイ、上海での旅行博への出展
- ・トップツアーズバンコク現地法人を活用した現地営業活動
- ・台湾、香港の著名ガイドブック『終極天書』への記事掲載
- ・JALジャカルタ支店やANA上海支店とのファミトリップ実施



「普悠馬号」の塗装を施したりょうもう号(イメージ)



台北旅行博での出展ブース

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

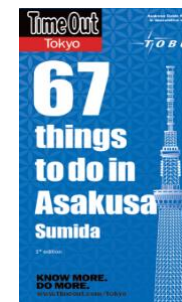
## インバウンド獲得に向けた情報発信と受け入れ体制の整備

### ■WEBサイト・SNSの積極的な活用

- ・東武グループインバウンド向けSNSの開設検討
- ・パワーブロガー、インフルエンサーの積極的な活用検討
- ・グループ各社のインバウンド用WEBサイトのリニューアル促進
- ・日本政府観光局(JNTO)WEB・Facebookへの掲載や外国語リリースの発信
- ・ミスインターナショナルの東京スカイツリータウンへの誘致とSNSによる情報発信



ミスインターナショナル誘致の様子



浅草・すみだマップ

### ■取り組みと他社連携

- ・訪日外国人向けガイドサービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO」への参画と、株式会社ぐるなびとの連携
- ・Time Out Tokyoと連携した浅草・すみだマップの作成、出稿
- ・『TOBU SAKURA MATSURI 2016』の開催(季節毎にイベント開催予定)



### ■FREE Wi-Fiエリアの拡大とムスリム対応

- ・TOBU FREE Wi-Fi導入駅を21駅から122駅に大幅拡大
- ・沿線主要駅で『訪日外国人向け観光ご案内ポータル』の設置検討
- ・東武ワールドスクウェアで、ムスリム礼拝所とハラールメニューを導入



LIVE JAPAN(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

## 既存ホテルのリニューアルと新規ホテルの建設 ～インバウンド競争力の強化～

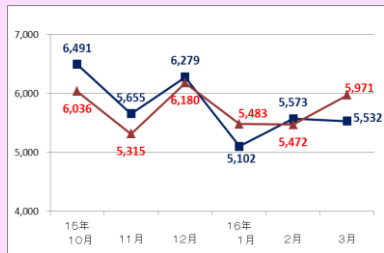
### ■ 既存ホテルのリニューアル

・外国人宿泊者数の増加を受け、既存ホテルのリニューアルを積極的に推進

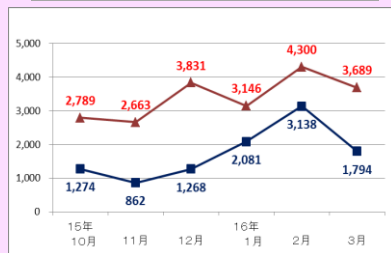
【外国人宿泊者数の推移】

■ 14年度 ▲ 15年度

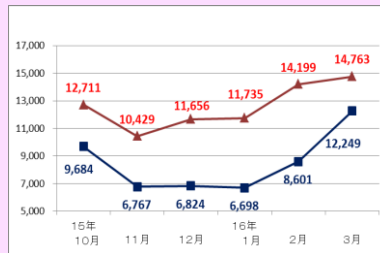
コートヤード・マリオット  
銀座東武ホテル



東武ホテルレバント東京



成田東武ホテルエアポート



コートヤード・マリオット銀座東武ホテル改装後のダブルルーム



成田東武ホテルエアポート 改装後のファミリールーム

### ■ 新規ホテルの建設(中央区銀座六丁目地区)

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時期までの開業をめざし、隣接する『コートヤード・マリオット銀座東武ホテル』とのシナジー効果を生み出す新規ホテルの建設を検討中



中央区銀座六丁目地区周辺地図

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

日光・鬼怒川地区の活力創出

## SL復活運転(17年夏運転開始予定)

～鉄道会社ならではの観光戦略を展開～

### ■ SL復活運転計画概要

- ・運転開始時期 17年夏目途
- ・運転予定区間 下今市～鬼怒川温泉間 12.4km
- ・土休日を中心に年間最大140日程度(3往復程度/日)

### ■ 下今市駅舎改修とSL見学エリアの整備

- ・SLの発着駅となる下今市駅は、昭和レトロ感のある駅舎に改修
- ・下今市駅構内にはSLの雄姿を間近で見学できるエリアを整備

### ■ 乗務員・検修員の養成を開始

- ・全国の鉄道会社の協力により、運行に必要な要員の養成に着手



検修員養成の様子



SL発着の拠点となる下今市駅(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

日光・鬼怒川地区の活力創出

## 日光レークサイドホテルの建替えと中禅寺湖遊覧船の新造 ～日光地区の更なる魅力を創出～

### ■日光レークサイドホテルの建替え

- ・多くの外国人観光客が訪れる日光において、ブランド力を引き上げ、国際的にアピールできるホテルとすべく、抜本的な建替え計画を検討中

### ■中禅寺湖遊覧船の新造

- ・現在運航中の2艘に加え、17年夏頃に定員400人程度を想定した新型船1艘を導入予定
- ・船内電力の一部に太陽光を使用し環境に配慮
- ・先頭2階部分に特別展望室を配備



建替え計画地周辺地図



新型船(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

その他の取り組み

## 東武トップツアーズの事業展開



### ■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャル旅行サービスパートナーに決定

【契約期間】 2016年3月31日～2020年12月31日

【契約内容】～オフィシャルパートナー（旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティー）～  
呼称やマークなどを使用し、オリンピック・パラリンピックムーブメントの盛り上げや、  
日本代表選手の支援、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に貢献する

### ■インバウンド営業の強化

- ・拡大するアジアマーケットを狙い、新規現地法人（バンコク）を15年7月に設立
- ・東京スカイツリー、日光・鬼怒川など沿線観光地への送客力の向上

### ■団体旅行の営業力強化

- ・スポーツ対応分野の強化
- ・教育旅行、MICE分野の強化
- ・法人営業、訪日観光団体営業の強化
- ・新規マーケット開発機能の強化

### ■新ブランド「Feel」発売開始

- ・16年度より旧東武トラベル「ユニック」と旧トップツアー「CUTE」を統合
- ・コンセプトは「私たちが創る新しい旅をお客様に感じていただきたい」



# Ⅲ. 2016年度 計画

## 1 利益計画(連結)

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減
営業収益	5,855	5,743	112
営業利益	650	644	6
経常利益	566	560	6
親会社株主に帰属 する当期純利益	337	273	64
利益剰余金	1,787	1,527	260
営業利益ROA※	4.1%	4.0%	0.1P
ROE※	8.4%	7.1%	1.3P

※営業利益ROA=連結営業利益÷[(期首総資産+期末総資産)÷2]

※ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷[(期首自己資本+期末自己資本)÷2]

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 2 キャッシュフロー計画(連結)

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減
EBITDA	1, 184	1, 173	11
(営業利益)	(650)	(644)	(6)
(減価償却費)	(534)	(529)	(5)
有利子負債残高	8, 040	8, 235	▲195
有利子負債/ EBITDA倍率	6. 8(倍)	7. 0(倍)	▲0. 2(P)
純工事額	662	693	▲31

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 3 セグメント別営業利益計画

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減
運 輸	379 (4.1%)	376 (4.1%)	3 (0.0P)
レジャー	77 (3.9%)	82 (4.4%)	▲5 (▲0.5P)
不 動 産	142 (3.4%)	140 (3.4%)	2 (0.0P)
流 通	14 (1.4%)	4 (0.4%)	10 (1.0P)
そ の 他	41 (1.9%)	52 (2.5%)	▲11 (▲0.6P)

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

(下段カッコ:営業利益ROA)

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 《運輸事業》

(単位:億円)

	16年度 (計画)	15年度 (実績)	増 減
営業収益	2,188	2,166	22
鉄道	1,630	1,615	15
その他	558	551	7
営業費用	1,809	1,790	19
鉄道	1,293	1,283	注 10
その他	516	507	9
営業利益	379	376	3
鉄道	337	332	5
その他	42	44	▲2

### 主な増減要因

#### 東武鉄道 鉄道業の旅客人員・旅客収入 (単位:百万人、億円、%)

		16年度 計画	15年度 実績	増 減	%
旅客 人員	定期外	317	316	1	0.4
	定期	598	588	10	1.7
	(特急※1)	6	6	0	2.7
	計	915	904	11	1.2
旅客 収入	定期外※2	796	790	6	0.7
	定期	667	658	9	1.5
	(特急※2)	57	55	2	2.5
	計	1,463	1,448	15	1.0

※1 旅客人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

※2 旅客収入の特急は、定期外旅客収入の内数である。

また、16年度計画の定期外旅客収入には、TJライナーの着席整理料金が含まれている。

注 東武鉄道 鉄道業	物件費	+ 37
	人件費	▲ 27
	諸税	+ 6
	動力費	▲ 4
	減価償却費	▲ 3

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 《レジャー事業》

(単位:億円)

	16年度 (計画)	15年度 (実績)	増減
営業収益	800	790	10
ホテル	179	171	8
スカイツリー	150	151	▲1
その他	471	468	3
営業費用	723	708	15
ホテル	171	164	7
スカイツリー	94	92	2
その他	458	452	6
営業利益	77	82	▲5
ホテル	8	7	1
スカイツリー	56	59	▲3
その他	13	16	▲3

主な増減要因

※東京スカイツリー入場者数  
 16年度計画 約474万人  
 15年度実績 約479万人

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 《不動産事業》

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減
営業収益	595	545	50
賃 貸	346	333	13
タウ ン	126	128	▲2
分 譲	123	84	39
営業費用	453	405	48
賃 貸	232	215	17
タウ ン	106	110	▲4
分 譲	115	80	35
営業利益	142	140	2
賃 貸	114	118	▲4
タウ ン	20	18	2
分 譲	8	4	4

### 主な増減要因

#### 分譲販売戸数

単位:戸

		16年度 計 画	15年度 実 績	対計画 増 減
販売戸数	戸建住宅	32	38	▲6
	マンション	331	166	165
持分換算後 販売戸数	戸建住宅	32	38	▲6
	マンション	256	134	122

※スカイツリータウン来場者数

16年度計画 約3,300万人

15年度実績 約3,360万人

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 《流通事業》

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減
営業収益	2,011	1,994	17
百貨店	1,791	1,774	注 17
その他	220	220	0
営業費用	1,997	1,990	7
百貨店	1,785	1,779	6
その他	212	211	1
営業利益	14	4	10
百貨店	6	▲5	11
その他	8	9	▲1

主な増減要因	
注	
池袋店	12
宇都宮店	4

# Ⅲ. 2016年度 計画

## 《その他事業》

(単位:億円)

	16年度 (計 画)	15年度 (実 績)	増 減	主な増減要因
営業収益	894	910	▲16	
営業費用	853	858	▲5	
営業利益	41	52	▲11	

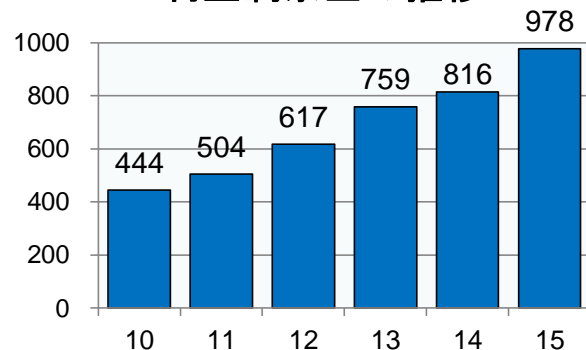
# Ⅲ. 2016年度 計画

## 4 鉄道単体

(単位:億円)

	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (計画)	16年度-15年度 (計画) (実績)
営業収益	2,218	2,226	2,279	53
営業費用	1,844	1,753	1,799	46
営業利益	374	473	480	7
経常利益	300	386	394	8
当期純利益	200	224	244	20

(億円) 利益剰余金の推移



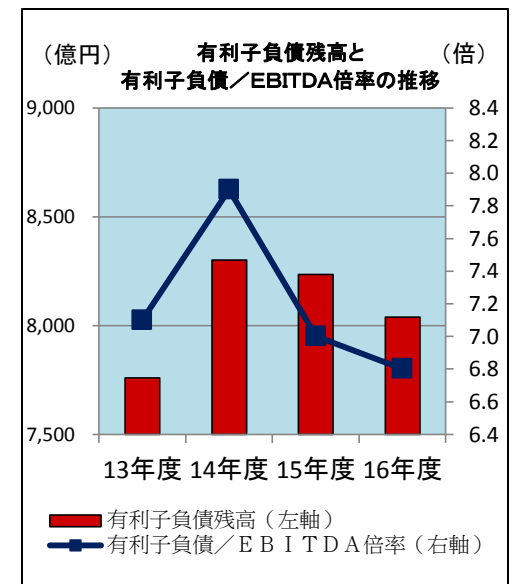
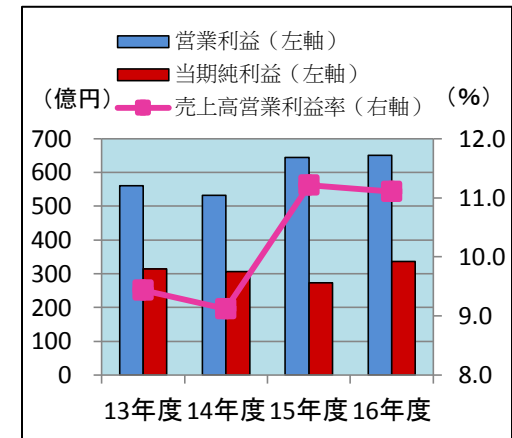
基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
16 年 3 月 期	3円00銭	3円00銭	6円00銭
17 年 3 月 期 ( 予 想 )	3円00銭	3円00銭	6円00銭

# (参考) 中期経営計画の進捗状況

16年度(最終年度)の連結目標数値



	15年度 実績	16年度 計画	16年度 中期経営 計画	差 引
営業収益(億円)	5,743	5,855	6,070	▲215
営業利益(億円)	644	650	650	0
経常利益(億円)	560	566	535	31
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	273	337	320	17
売上高営業利益率(%)	11.2	11.1	10.7	0.4
減価償却費(億円)	529	534	527	7
EBITDA(億円)	1,173	1,184	1,177	7
有利子負債(億円)	8,235	8,040	8,400	▲360
有利子負債/ EBITDA倍率(倍)	7.0	6.8	7.1	▲0.3



# 東武グループ中期経営計画2014～2016



## 基本戦略

1

### 鉄道事業の利便性・安全性の向上

- ◇東武アーバンパークラインの利便性・快適性の向上
- ◇質の高い輸送サービスの提供
- ◇安全性の向上

2

### 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

- ◇東京スカイツリータウン来場者の維持拡大
- ◇地域との連携によるエリア全体の活性化
- ◇東武グループ各社による収益拡大

3

### 沿線的生活価値の向上

- ◇沿線拠点の強化
- ◇駅直結・駅スペースを活用した商業施設の魅力向上
- ◇定住化促進と生活支援事業の展開

4

### 観光戦略の展開

- ◇訪日外国人観光客向けサービスの拡充
- ◇日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出



## 当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

Sky Restaurant 634(musashi)からの夜景



提供：東武ホテルマネジメント